

2013. 9. 25

---

プレスリリース

---

## 「内外の化繊工業の動向」

2013年 第2四半期

平素より格別のお引き立てをいただき厚く御礼申し上げます。  
このたび、当会では、標記の報告書をまとめましたので、その「概要」をお届けします。  
ご高覧下さいますよう、よろしくお願い申し上げます。

日本化学繊維協会

(お問合せ先 業務調査グループ TEL 03-3241-2313)

## 概 要 (2013年第2四半期)

2013年4-6月のわが国の景気は、個人消費の回復と円高是正を背景に輸出が堅調に推移したことで景況感が改善してきた。

化繊景況は、衣料用はユニフォームが低調に推移、アクリルスやアウトドア向けなどの輸出ビジネスが堅調であった。一方産資用は、自動車関連用途が昨年エコカー補助金終了以降低調に推移した。このような中、化繊生産は前年比0.4%減の25.1万トンであった。

### 国 内

- 1) 衣料用はアクリル衣料用の2013年秋冬向け出荷が堅調、ダウンジャケットは羽毛が高騰したため一部で中綿用に合繊での代替が見られた。婦人ブラックフォーマルは在庫調整が進み回復基調、コンプレッションウェアは飽和感が強く、これまで堅調だったランニング用も一巡感が出た。非衣料用では不織布の衛材用が好調に推移、カーテン用は新規住宅着工件数が増加しているが糸の出荷増には反映せず。カーシート、シートベルト、吸音材などの自動車関連用途は低調、タイヤコード用も織物輸入の急増で国産品のシェアが更に低下した。震災復興関連では漁網用の需要が終了、除染処理用の土嚢・フレコン向けは仮置場の決定が遅れているため荷動きが小休止となり、予想を下回った。
- 2) 生産指数は、繊維工業全体では前年比1.3%減、前期比3.2%増、化繊1.6%増、3.9%増、紡績11.7%減、1.7%減。在庫指数(期末)は、繊維工業全体が前期比1.0%減、化繊1.8%増、紡績6.9%減となった。(生産、在庫とも指数ベースの比較、2010年=100)
- 3) 繊維品輸出は、ドルベースで23.0億ドル・前年比10.8%減、円ベースでは2,267億円・9.9%増。形態別(ドルベース)では、繊維原料・前年比1.0%減、糸類・10.5%減、織物類・10.8%減、二次製品他・15.2%減。仕向地別(ドルベース)では、全体の36.2%を占める中国が14.4%減の8.3億ドル、香港(15.4%減)、韓国(2.6%減)、台湾(8.5%減)、アセアン地域は、ベトナム(2.3%減)、タイ(23.5%減)インドネシア(6.6%減)・マレーシア(1.0%減)、それ以外では、西アジア(4.1%増)、欧州(13.8%減)、米州(15.1%減)であった。
- 4) 繊維品輸入は、ドルベースで96.6億ドル、前年比0.3%増、円ベースでは9,530億円・23.3%増。形態別(ドルベース)では、繊維原料は1.9億ドル・8.9%増、糸類3.4億ドル・9.3%減、織物3.9億ドル・0.9%減、二次製品他87.4億ドル・0.6%増。仕出地別(ドルベース)では、全体の70.4%を占める中国が1.1%減の68.0億ドル、韓国(10.5%減)、台湾(16.3%

減)、アセアン地域は、ベトナム(8.3%増)、インドネシア(14.9%増)、タイ(2.2%増)、マレーシア(6.0%減)、それ以外では、インド(1.4%増)、イタリア(2.4%増)、米国(5.1%増)となった。

### 繊維品輸出・輸入実績

項目	単位	12.4-6	13.1-3	13.4-6	前年比(%)	前期比(%)
輸出	千ドル	2,574,400	2,068,196	2,296,564	-10.8	11.0
計	百万円	206,317	191,611	226,678	9.9	18.3
繊維原料	千ドル	425,244	407,616	421,072	-1.0	3.3
糸類	〃	332,152	302,950	297,261	-10.5	-1.9
織物類	〃	859,560	630,977	766,794	-10.8	21.5
二次製品他	〃	957,443	726,652	811,438	-15.2	11.7
輸入	千ドル	9,627,088	9,685,076	9,656,322	0.3	-0.3
計	百万円	772,591	893,655	952,985	23.3	6.6
繊維原料	千ドル	172,656	169,899	187,955	8.9	10.6
糸類	〃	378,697	313,345	343,628	-9.3	9.7
織物類	〃	388,842	333,070	385,170	-0.9	15.6
二次製品他	〃	8,686,894	8,868,762	8,739,569	0.6	-1.5
(うち衣類)	〃	(7,202,594)	(7,560,481)	(7,332,251)	1.8	-3.0
輸出レート	円/ドル	80.1	92.6	98.7	23.2	6.5
輸入レート	円/ドル	80.3	92.3	98.7	23.0	7.0
(出所) 財務省						

5) 化繊生産は25.1万トン・前年比0.4%減、前期比5.0%増、うちセルロース繊維は3.9万トン・11.4%減、8.4%減、合繊21.3万トン・1.9%増、7.8%増。期末在庫は前年比7.5%減、前期比6.2%増、うちセルロース繊維が1.9%増、2.5%減、合繊9.3%減、8.3%増であった。

化繊輸出(繊維原料～二次製品)は、16.3万トン・前年比2.3%増。うち、繊維原料は8.2万トン・7.4%増、糸類2.9万トン・4.2%増、織物類(面積ベース)1.70億㎡・2.4%減、二次製品2.5万トン・5.0%減であった。レーヨンSは21.1%増、ナイロンF6.4%増、ポリエステルF7.5%減、ポリエステルS14.2%増、アクリルS14.8%増、織物類(面積ベース)はナイロンF織物1.9%減、ポリエステルF織物6.2%減、ポリエステルS織物2.6%増となった。

化繊輸入(繊維原料～二次製品)は、31.8万トン・前年比2.1%増。繊維原料は1.4万トン・22.2%増、糸類4.8万トン・4.6%減、織物(面積ベース)1.57億㎡・6.3%減、二次製品22.8万トン・2.3%増、うち衣類11.0万トン・2.9%増となった。ナイロンFは3.9%減、ポリエステルF7.2%減、ポリエステルS18.2%増、ポリエステル紡績糸3.4%増、織物類(面積ベース)はポリエステルF織物3.8%減、ポリエステルS織物14.7%減であった。

## 化学繊維の主要指標

項 目	単 位	12. 4-6	13. 1-3	13. 4-6	前年比 (%)	前期比 (%)
化繊生産	千トン	252.1	239.2	251.1	-0.4	5.0
セルロース	〃	43.4	42.0	38.5	-11.4	-8.4
合 織	〃	208.6	197.2	212.6	1.9	7.8
化繊在庫	〃	96.4	83.9	89.2	-7.5	6.2
セルロース	〃	15.2	15.9	15.5	1.9	-2.5
合 織	〃	81.2	68.1	73.7	-9.3	8.3
化繊輸出	千トン	159.0	155.9	162.7	2.3	4.3
	100万ドル	1,640.3	1,335.4	1,455.3	-11.3	9.0
	億円	1,314.7	1,237.3	1,436.6	9.3	16.1
繊維原料	千トン	76.1	83.6	81.7	7.4	-2.3
糸 類	〃	28.0	29.7	29.1	4.2	-1.9
織物類	百万㎡	174.5	136.5	170.4	-2.4	24.8
二次製品	千トン	26.6	20.7	25.2	-5.0	21.7
化繊輸入	千トン	311.7	312.1	318.2	2.1	2.0
	100万ドル	4,073.7	4,124.6	3,996.2	-1.9	-3.1
	億円	3,269.6	3,802.5	3,943.8	20.6	3.7
繊維原料	千トン	11.4	13.5	13.9	22.2	3.1
糸 類	〃	50.4	45.6	48.1	-4.6	5.4
織物類	百万㎡	167.5	157.1	157.0	-6.3	-0.1
二次製品他	千トン	223.1	226.4	228.3	2.3	0.8
(うち衣類)	〃	(107.2)	(112.8)	(110.3)	2.9	-2.2

(出所) 経済産業省、財務省

(注) 1. 在庫は生産者在庫で各期末 2. 化繊輸出入の計には化繊くずを含む

### 6) 主要合織品種の動向は次の通り。

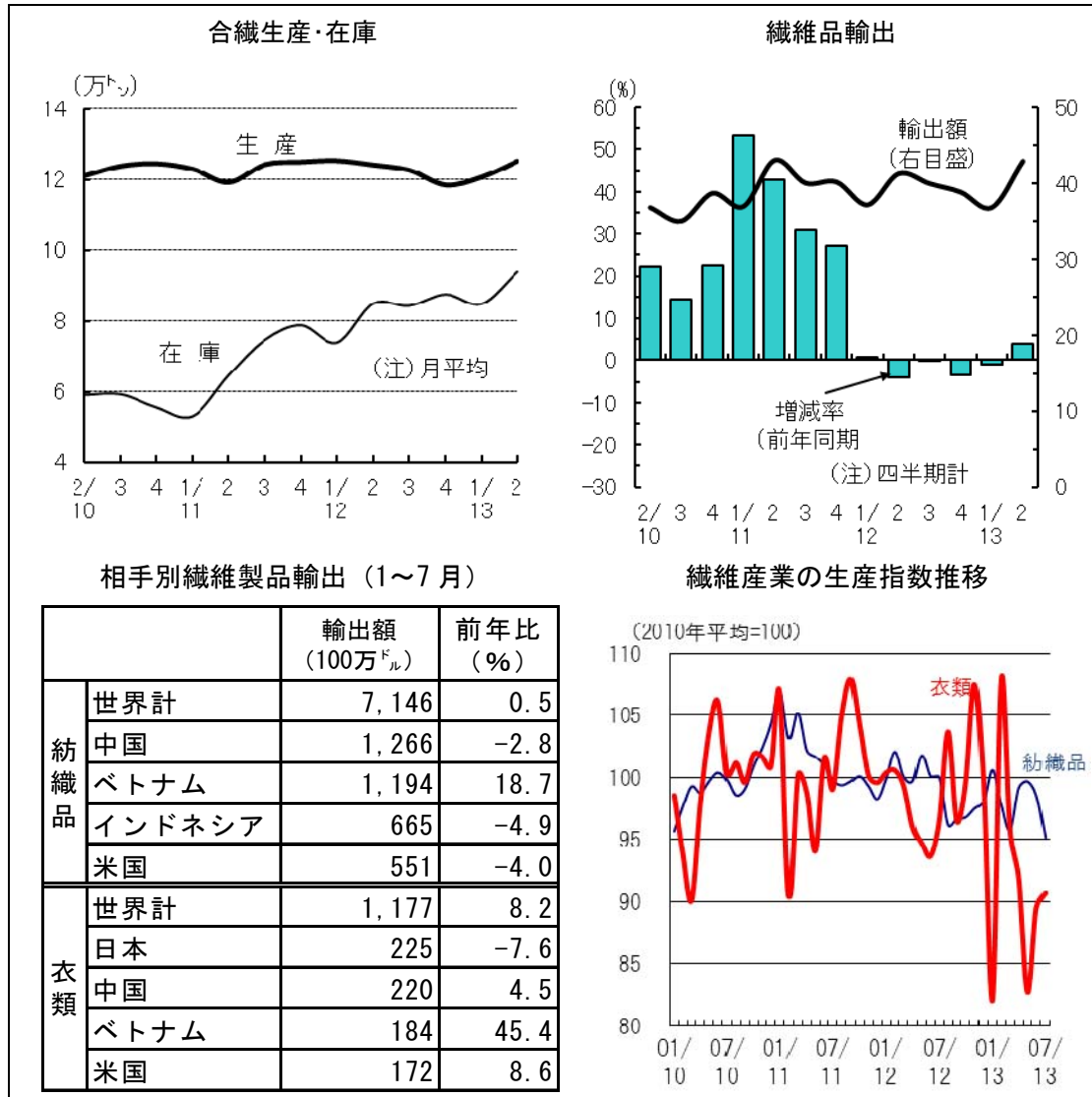
**ポリエステルF**：生産は 41,223 トン・前年比 7.4%減、織物生産 9,763 万㎡・1.2%減。  
 ダウンジャケットは羽毛が高騰したため、合織での代替が一部で見られた。ブラックフォーマルは在庫調整が進み回復基調、中東向け民族衣装（アバヤ）も円安効果で数量増となった。水着用は昨年並み、コンプレッションウェアはブランド品が堅調であるが全体的に飽和感が強い。学校体育用は 2012 年上半期に前倒し出荷が進んだため、下半期は落ち着いた動きとなった。タイヤコードは、タイヤの生産が回復してきたが、同用途の最大手合織メーカーが撤退を発表したことで織物輸入が更に増加した。カーシート、シートベルトは昨年エコカー補助金終了後、低調に推移した。漁網は復興向け補助金終了後、通常出荷に戻り、被災地向けの「除染処理用の土嚢/フレコン」用は仮置場の決定が遅れているため荷動きが鈍化し、糸出荷が予想を下回った。

**ポリエステルS**：生産は 37,236 トン・前年比 1.2%減。紡績糸生産は、4,066 トン・同 10.0%減。紡績用は綿混が主力のユニフォーム分野の生地・製品が低調、レーヨン混／ウール混は衣料用が安定してきたが、資材用が安価な輸入糸が中心となり不振。製綿用は夏物寝具が輸入品中心、羽毛高騰によりステープルの需要増の期待もあるが、出荷実績には表れず。不織布用は衛材が堅調に推移、生活資材は円高是正を背景に一部国内生産品への回帰も出てきたが、パップ剤はニット基布使用品が人気を集め不織布基布使いの製品が苦戦。車両資材はエコカー補助金終了後落ち込んだままの状況が続く。湿式不織布は主力の水処理関係が円高是正でステープルの輸出の採算が改善してきた。

**ナイロンF**：生産は 23,821 トン・前年比 1.9%減。織物生産は 3,362 万㎡・同 3.7%増。衣料用はパンストでプレーン物が堅調であったが柄物が低調のため両者を合わせると昨年並み。輸出比率が高いアウトドアの海外市場は、これまでの超円高で韓国品に奪われていた中級品が円安進行を背景に奪還が進んだ。ハイテンションニットは国内が横這いとなったが、中国向け輸出は日本品の品質の良さが見直されて回復してきた。タイヤコードはタイヤ生産が上向いてきたが低調、中国からの織物輸入が増加した。エアバッグは原糸輸出の好調が続き、なかでも中国向けの急増が目立った。カーペットは大型物件が端境期に入り低調、高級車対象の自動車用マット向けは回復基調を辿った。

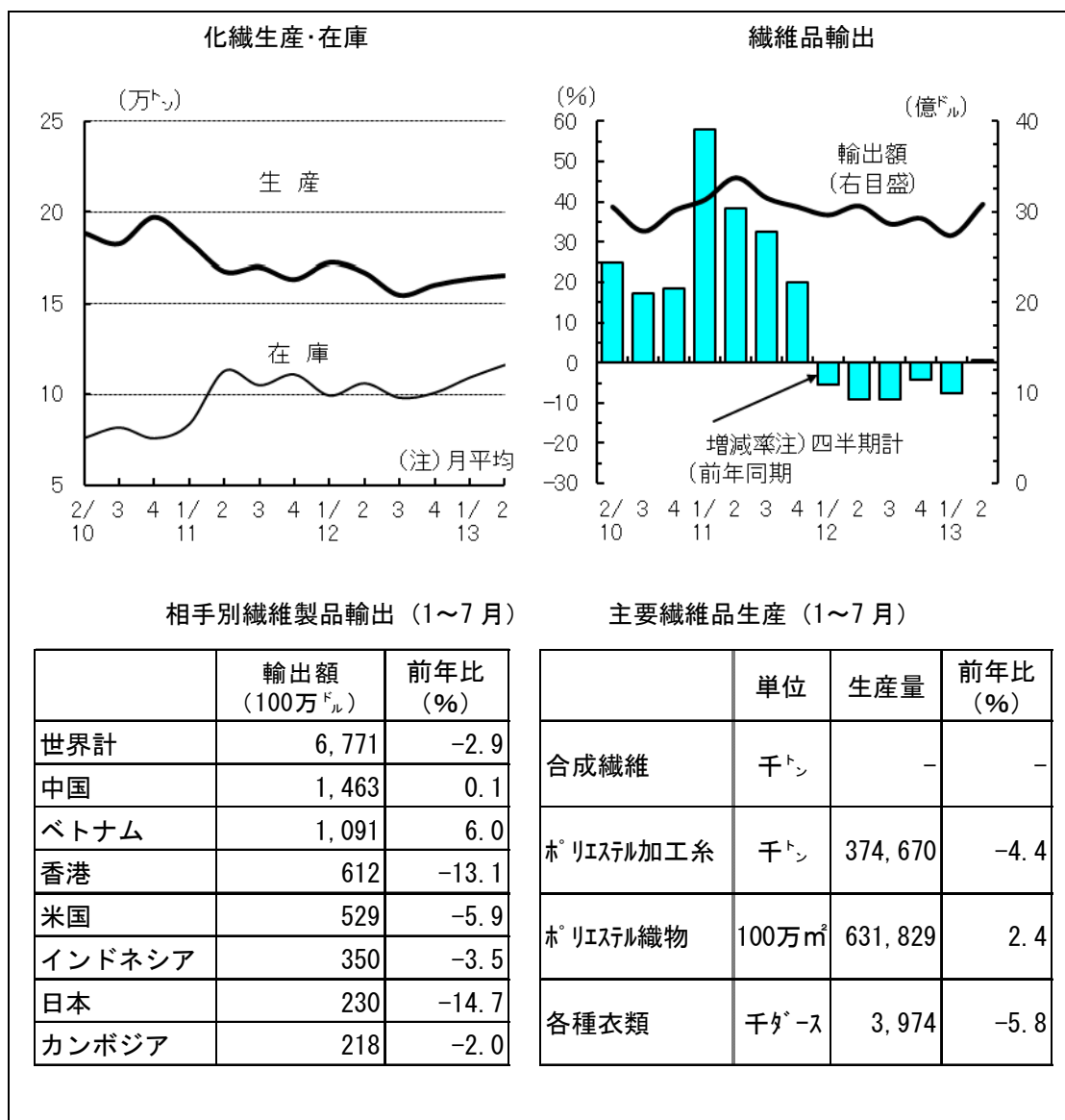
**アクリルS**：生産は 39,247 トン・前年比 13.6%増。紡績糸生産は 2,269 トン・同 17.4%減。衣料用は大手SPA向けの保温肌着から派生したフリース、レッグ、マフラー、レッグウォーマーなどが好調を維持、年々ステープルの前倒し出荷が進む。セーターはスクール（ベスト）が動いて程度で低調。建寝装向けは毛布が大手問屋の企画でポリエステルが殆どを占め、カーペットも一部の水回り品を除くと不振。ステープルの輸出は最大仕向地の中国が前年比大幅増、これは昨年4-6月に大きく落ち込んだ反動が出たことが要因の一つ。インドネシアは、現地のセーター向け紡績業者の稼働率が大きく低下したため低調であった。イランは経済制裁強化で今年に入り皆無の状況が続いている。

7) 韓国



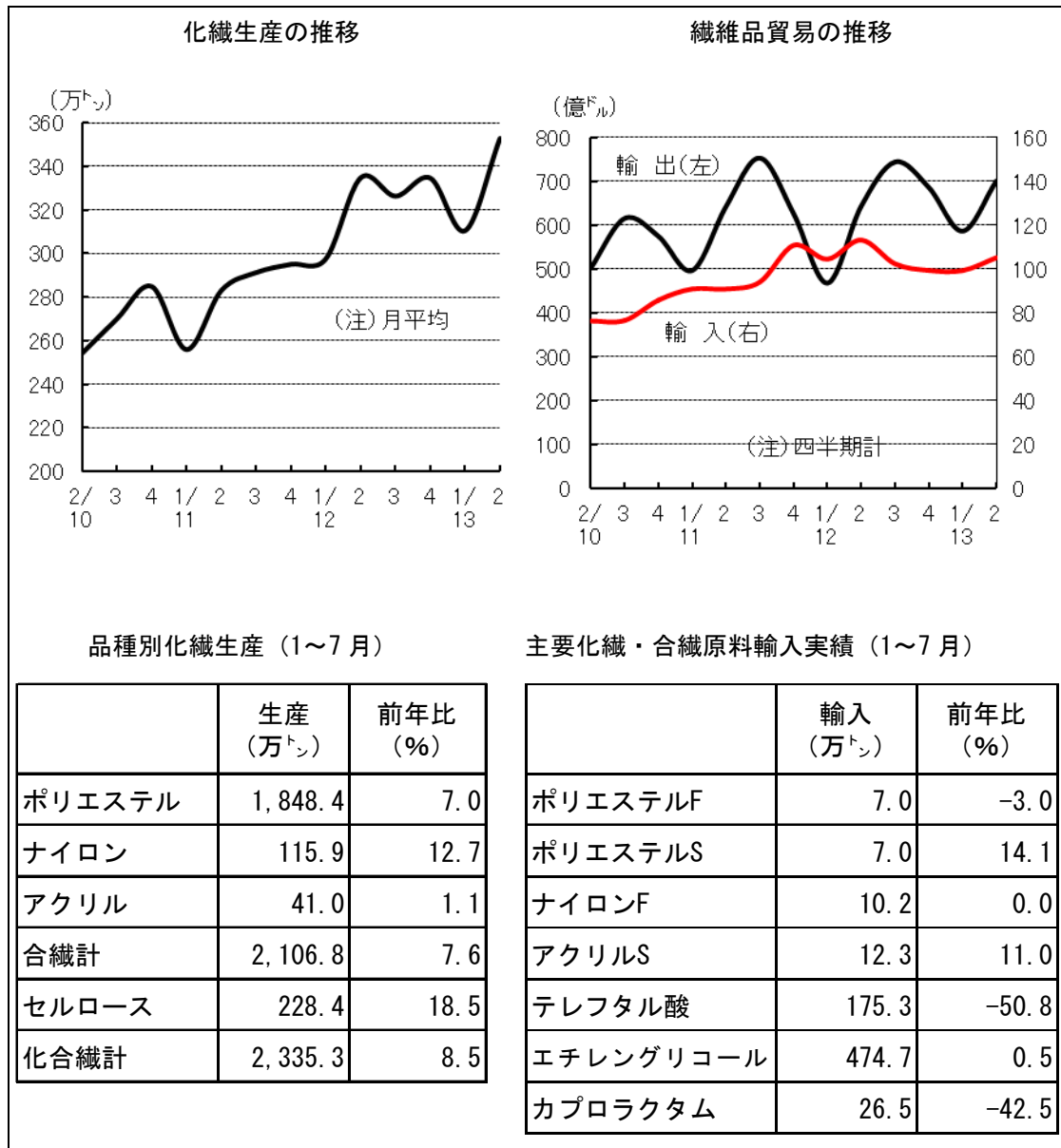
- ◆合繊生産は4期ぶり、繊維品輸出は5期ぶりの前年実績増となった。
- ◆第2四半期の合繊生産は前年同期比1%増38万トﾝ(推計値)。一方、期末在庫は9.5万トﾝと2011年第一四半期を底に上昇が続いている。
- ◆第2四半期の繊維品輸出は前年同期比3.9%増の42.9億ドルとなった。1-7月の繊維品輸出を相手別にみると、紡織品は全体で0.5%増、ベトナム向けが18.7%増となったが、その他主要仕向国は減少、衣類は全体で8.2%増、主力の日本は減少したが、米国、ベトナム、中国向けが増加した。
- ◆直近(2013年7月)の繊維品の生産指数をみると、紡織品は前年同月比4.8%減、衣類は6.1%減となった。

## 8) 台湾



- ◆化繊生産は9期連続の前年実績割れとなったが、繊維品輸出は6期ぶりに前年実績を上回った。
- ◆第2四半期の化繊生産は前年同期比0.9%減の49.6万トンとなった。主要合繊の生産は、アクリルS(8.3%増)が好調な輸出から前年実績を上回ったが、ナイロンF(3.5%減)、ポリエステルF(0.8%減)、ポリエステルS(5.5%減)は、いずれも前年実績割れとなった。合繊の期末在庫は前年同期比2.6%増の11.8万トン。
- ◆第2四半期の繊維品輸出は、0.7%増の30.9億ドル。1-7月の輸出を相手別にみると、ベトナムが増加、中国が横ばいとなったが、その他の上位国は軒並み減少となった。
- ◆1-7月の主要繊維品の生産は、ポリエステル加工糸は4.4%減、ポリエステル織物は2.4%増、衣類生産は5.8%減となった。

9) 中国



- ◆ 繊維生産は引続き拡大しているがその伸びは鈍化した一方、繊維品輸出は堅調な動きが続いている。
- ◆ 第2四半期の化繊生産は前年同期比5.4%増の1,058万トとなった。1-7月の化繊生産を品種別にみると、主力のポリエステルは7.0%増の1,848万ト、ナイロンは12.7%増の116万ト、アクリルは1.1%増の41万トといずれも増加、セルロースは18.5%増の228万トとなった。
- ◆ 第2四半期の繊維品輸出は前年同期比8.9%増の701億ドル、繊維品輸入は7.1%減の105億ドルとなった。
- ◆ 1-7月の合繊原料の輸入をみると、国内生産の増加もあり、テレフタル酸は51%減、カプロラクタムは43%減とともに大幅減となった。



相手別繊維製品輸出（1～7月）			繊維業界の主要指標（1～5月）			
	輸出額 (億ドル)	前年比 (%)		単位	指標	前年比 (%)
世界計	1,499	12.7	企業数	社	37,797	2.8
香港	109	23.1	赤字企業数	万社	-	-
日本	138	0.0	主要業務収入	億元	23,709	14.3
韓国	34	14.3	利潤総額	億元	1,089	18.8
ベトナム	71	63.1	工業総生産額	億元	24,494	14.2
インドネシア	26	8.7	就業人数	万人	996	3.4
EU	272	5.5	繊維産業実際投資	億元	2,965	13.6
米国	211	6.9	うち化繊産業	億元	350	19.4

(注) 海関統計の11部（HS50-63類）から作成

社会小売財消費総額（1～8月）				繊維関連物消費者物価指数（1～8月）	
	単位	数値	前年比 (%)		前年同期比 (%)
商品売上総額	億元	18,886	13.4	消費者価格指数・全製品	2.5
うち繊維品等	億元	6,963	12.1	消費者価格指数・衣類等	2.3

- ◆1-7月の相手別の繊維製品輸出をみると、EU向けは前年同期比5.5%増との272億ドル、米国向けは6.9%増の211億ドルとともに堅調に推移した。アジア地域では、日本向けは横ばいであったが、韓国向けは14.3%増、ベトナム向けは63.1%の大幅増となった。
- ◆1-5月の繊維産業の主要指標をみると、主要業務収入は前年同期比14.3%増、利潤は18.8%増と2桁の増収増益となった。繊維産業の実際完成投資額は13.6%増、そのうち、化繊産業は19.4%増となった。化繊産業の就業人数は3.4%増の996万人。
- ◆繊維産業の衣料用内需の伸びは鈍化したものの、比較的堅調に推移している。1-8月の繊維品商品売上は前年同期比12.1%増となった。また、衣類等の物価指数は前年同期比2.3%上昇した。

## 10) 米 国

### ・合織生産

2013年1～7月の合織生産は前年同期比3.5%増の169.6万トンであった。主要品種別にみると、ナイロンFは主力のカーペット用が住宅市場の回復基調が継続していることから1.8%増の26.8万トンとなった他、産資用が5.3%増の4.6万トン、紡織用が22.1%増の2.2万トンといずれも増加し、全体で3.4%増の33.6万トンとなった。

ポリエステルFは、主力のカーペット用が前述の住宅市場の回復に加え、ナイロンからの素材代替も進行し19.0%増の18.7万トンと大幅に増加した、産業用も2桁増となったが、紡織用は1.8%減の10.4万トンと減少した。全体では11.4%増の36.6万トン。ポリエステルSは2.5%増の38.5万トン。不織布向けが10.9%増と増加した。

オレフィンFは、モノフィラメント・スパンボンド・フィルムファイバーが5.0%の出荷増と堅調で、生産は全体で0.5%増の50.0万トン。一方、オレフィンSは2.6%減の10.9万トンと減少した。

### 主要合織の生産高（1～7月）

(1000トン)

	2012	2013	前年比(%)
ナイロンF	324.4	335.5	3.4
産資用	43.6	45.9	5.3
カーペット用	262.9	267.8	1.8
紡織用	17.9	21.8	22.1
ポリエステルF	328.3	365.8	11.4
産資用	65.3	74.8	14.6
カーペット用	157.1	187.0	19.0
紡織用	105.9	104.0	-1.8
ポリエステルS	375.5	384.8	2.5
オレフィンF	497.7	500.2	0.5
オレフィンS	112.0	109.1	-2.6
合織計	1,637.9	1,695.5	3.5

(出所) Fiber Review

### ・輸 入

2013年の1～7月の繊維製品輸入は前年同期比3.1%増の590.1億ドルとなった。仕出地別にみると、中国が1.8%増の176.4億ドルで、輸入全体に占める割合は前年同期の38%から横ばい。これに対し、低コスト国のベトナムは13.5%増の49.6億ドルと大幅に増加した。

衣料輸入は3.6%増の447.0億ドルであった。ベトナムが12.5%増、バングラデシュが9.2%増と10%前後の大幅増となった。一方、中国が2.5%増、メキシコは1.8%減。

## 繊維製品輸入実績（１～７月）

(100万ドル)

繊維製品計				うち衣類			
仕出地	2012年	2013年	前年比(%)	仕出地	2012年	2013年	前年比(%)
中国	21,947	22,346	1.8	中国	15,253	15,639	2.5
ベトナム	4,366	4,955	13.5	ベトナム	4,043	4,550	12.5
インド	3,593	3,737	4.0	インドネシア	2,978	3,091	3.8
インドネシア	3,137	3,250	3.6	バングラデシュ	2,745	2,997	9.2
バングラデシュ	2,845	3,103	9.1	メキシコ	2,179	2,139	-1.8
世界	57,236	59,015	3.1	世界	43,152	44,702	3.6

(出所) 米商務省

## 11) 欧州

### ・合繊生産

合繊生産はポリエステルSが3.0%増の34.8万トと増加したものの、その他の品種はいずれも減少した。産資用ナイロンFは前年同期比5.8%減の5.4万ト、紡織用ポリエステルFは1.2%減の11.8万ト、産資用ポリエステルFは6.9%減の6.8万トと減少した。短繊維はアクリルSが7.3%増の27.8万トと減少した。

### 主要合繊の生産高（１～６月）

	(1000ト、%)				
	2010	2011	2012	2013	前年比
産資用ナイロンF	57.4	62.4	57.5	54.2	-5.8
紡織用ポリエステルF	139.5	147.0	119.9	118.4	-1.2
産資用ポリエステルF*	70.6	80.8	72.9	67.9	-6.9
ポリエステルS*	324.5	333.8	338.0	348.0	3.0
アクリルS	291.0	285.9	299.9	278.1	-7.3

(出所) CIRFS (注) \*ベラルーシを含む。その他の品種は未発表。

### ・企業動向

フィンランドのレーヨンSメーカーAvilon Fibres Ltdは、2011年9月以降再建プログラムが適用されていたが、このたび倒産を申請した。その後、ドイツのレーヨンSメーカーのKelheim Fibres GmbHが、Avilonより、難燃レーヨンSの製造技術を取得することで合意した。

スペインのアクリルSメーカーMontefibre Hispaniaは、会社更生法の適用を申請。これにより同社は一時的に工場を操業しながら、債権者らと新たな再建枠組みの交渉を行う。同社はイタリアのMontefibre S.p.A.の子会社で、Miranda de Ebro工場（年産9.5万ト）でアクリルSを製造している。

## 合繊4品種需要実績

(2013年4～6月)

### I. ポリエステルフィラメント需要実績

(単位:トン、%)

		2013年4～6月 実績	対前期比	対前年同期比
国内 需要	衣料用 (加工品輸出用含む。)	16,782	99.2	87.4
	非衣料用 (加工品輸出用含む。)	46,912	103.8	93.7
	計	63,694 (26,365)	102.6 (105.5)	92.0 (92.8)
輸出 (原糸、加工糸)		2,315	64.1	100.6
需要計		66,009	100.4	92.2
在庫		14,502	114.3	87.5

(注)国内需要の( )内数値は輸入量

### II. ポリエステルステープル需要実績

(単位:トン、%)

		2013年4～6月 実績	対前期比	対前年同期比
国内 需要	紡績用 (加工品輸出用含む)	5,054	106.2	97.8
	非紡績用 (加工品輸出用含む)	27,460	89.7	89.4
	計	32,514 (6,114)	95.3 (99.9)	94.2 (118.2)
輸出 (ステープル・トウ・トップ)		5,084	57.4	101.1
需要計		37,598	87.5	95.0
在庫		19,175	115.3	82.9

(注)国内需要の( )内数値は輸入量

### III. ナイロンフィラメント需要実績

(単位:トン、%)

		2013年4～6月 実績	対前期比	対前年同期比
国内 需要	衣料用 (加工品輸出用含む。)	9,519	113.9	105.8
	非衣料用 (加工品輸出用含む。)	14,181	91.8	87.9
	計	23,700 (6,056)	99.6 (94.3)	94.3 (96.1)
輸出 (原糸、加工糸)		6,025	91.8	112.3
需要計		29,725	97.9	97.5
在庫		10,582	102.4	121.2

(注)国内需要の( )内数値は輸入量

### IV. アクリルステープル需要実績

(単位:トン、%)

		2013年4～6月 実績	対前期比	対前年同期比
国内 需要	衣料用 (加工品輸出用含む。)	8,253	97.1	113.0
	非衣料用 (加工品輸出用含む。)	2,094	98.8	88.5
	計	10,347 (266)	97.4 (115.7)	107.0 (192.8)
輸出 (ステープル・トウ・トップ)		28,878	109.8	122.3
需要計		39,225	106.3	117.8
在庫		10,053	104.6	90.5

(注)国内需要の( )内数値は輸入量